

対象学年	1 学年	科目名	着付 I	担当名	岡野 暢子・大原 洋子
対象学期(Q)	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	一人で着る着付の知識と技術を習得することができる。 浴衣の着付と帯結びができる。小紋の着付と帯結びができる。 山野流着装(初伝)の資格を取得する。																					
学習内容	和装の知識・技術を長年経験した山野流着装教室 着物着付師が講義をする。 山野流初伝習得を目指し、着物の基礎知識、衣装の扱い方をわかりやすく解説し、着物に親しみ浴衣から小紋までを鏡を見ないで一人で着る自装を学ぶ																					
成績評価の方法と基準	出席点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>GPA</td> <td>合計点数</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>4.0</td> <td>90点～100点</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>3.0</td> <td>80点～89点</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>2.0</td> <td>70点～79点</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>1.0</td> <td>60点～69点</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td></td> <td>出席不良</td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>0.0</td> <td>59点以下(不合格)</td> </tr> </table> ※定期試験は実技試験とする <初伝>資格取得試験…小紋の着付と名古屋帯使用の一重太鼓	評価	GPA	合計点数	A	4.0	90点～100点	B	3.0	80点～89点	C	2.0	70点～79点	D	1.0	60点～69点	E		出席不良	F	0.0	59点以下(不合格)
評価	GPA	合計点数																				
A	4.0	90点～100点																				
B	3.0	80点～89点																				
C	2.0	70点～79点																				
D	1.0	60点～69点																				
E		出席不良																				
F	0.0	59点以下(不合格)																				
履修に当たっての留意点	資格取得の科目につき遅刻・欠席は認めない 印鑑を持参すること キャミソール(タンクトップは不可)・レギンス(薄手のもの)を着用 髪は襟足にかからないよう上にまとめてあげる																					

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	浴衣の歴史・知識 着物の名称 下着・紐類・小物の使い方 下着の着付	着物着つけ教本・筆記用具・足袋 肌襦袢・裾除け・タオル(白)1枚	
2	浴衣の着付と細帯の結び方	着物着つけ教本・筆記用具・足袋 肌襦袢・裾除け・タオル(白)1枚	
3	小紋と名古屋帯の知識 着付前の準備の仕方 展示同時実習 長襦袢の着付(伊達締めまで)	着物着つけ教本・筆記用具・足袋 肌襦袢・裾除け・タオル(白)1枚	
4	名古屋帯のたたみ方から準備の仕方 展示同時実習 小紋の着付(伊達締めまで)	着物着つけ教本・筆記用具・足袋 肌襦袢・裾除け・タオル(白)1枚	
5	準備の仕方から小紋の着付まで 展示同時実習 名古屋帯の一重太鼓の帯結び	着物着つけ教本・筆記用具・足袋 肌襦袢・裾除け・タオル(白)1枚	
6	準備の仕方から小紋の着付まで 展示同時実習 名古屋帯の一重太鼓の帯結び	着物着つけ教本・筆記用具・足袋 肌襦袢・裾除け・タオル(白)1枚	
7	着付総仕上げ 着付前の準備から一人で着る着付 衣装のしまい方まで	着物着つけ教本・筆記用具・足袋 肌襦袢・裾除け・タオル(白)1枚	
8	定期試験<初伝>取得:実技試験	着物着つけ教本・筆記用具・足袋 肌襦袢・裾除け・タオル(白)1枚	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			